

ちょっとおもしろかった話^{はなし}

—インドでの新婚旅行^{しんこんりょこう}—

小楠 理恵^{おぐす りえ}

(浜松日本語学院日本語教師養成講座^{はままつにほんごがくいんにほんごきょうしゅうせいこうざ})

かなり昔^{むかし}のことですがインドへ新婚旅行^{しんこんりょこう}に行った時^{とき}のことについて書きた
いと思います。

まず、新婚旅行^{しんこんりょこう}の行き先^{いきさき}がインドというのは珍^{めづら}しいと思われるかもしれませ
んが、私^{わたし}の友人^{ゆうじん}にも1人^{ひとり}、インドを選^{えら}んだ人がいて、お互い^{たが}にその事実^{じじつ}を知^し
た時^{とき}にはびっくりしました。

では、どんな面白^{おもしろ}い体験^{たいけん}をしたかと言^いいますと、1つ目^めはタージマハルで夫^{おっと}
のスニーカーを盗^{ぬす}まれたことです。私^{わたし}のサンダルを履^はいた夫^{おっと}におぶってもら
い、街^{まち}まで靴^{くつ}を買^かいに行^いきました。

2つ目^めはラジさんというガイドのことです。新婚旅行^{しんこんりょこう}なのに、ホテルの朝^{ちょう}食^{しょく}
から始^{はじ}まり、ほとんど全^{すべ}ての食^{しょく}事^じ時^じ間^{かん}を3人^{にん}で過^すぎました。そんなに私^{わたし}達^{たち}
ことが心^{しん}配^{ぱい}だったのでしょうか。しかもお礼^{れい}をしようとする^{わたし}と「私^{わたし}はあなた^{たち}
よりずっと金^{かね}持^もちだから」とマウントし、何^{なに}も受^うけ取^とってくれませんでした。

3つ目^めは、らくだにの^のったことです。きっと私^{わたし}にとって最^{さい}初^{しょ}で最^{さい}後^ごの経^{けい}験^{けん}に
なっ^{おも}たと思います。

そして、4つ目^めはホテルで占^{うらな}い師^しに見^みてもらったことです。災^{わざわ}いから身^みを守^{まも}

るためにルビーを身に付けると良いと言われ、スタールビーの指輪を買うことになりました。後で知ったのですが、インドはスタールビーの産地であったため、占いに騙されて、買わされたこととなります。ちょっと悔しい気持ちにもなりましたが、名産品を手にすることができたことは、旅の醍醐味と言えます。

こうして旅行を振り返ると、思い出に残っているのは、名所や旧跡ではなく、ちょっとしたエピソードになります。ハプニングもたくさんあったインド旅行ですが、大きなエネルギーに満ちた国だと感じました。その後、インドは訪問していません。当時からどれ位、発展しているか、是非この目でもう一度見てみたいと思います。

(713字)

(2022.6 たどくのひろば掲載)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.